

【地区活動報告】

クラブ青少年交換関連委員長会議

rotary
youth
exchange

地区青少年交換委員長 豊岡 敬

2月5日に和歌山県JAビルにて、森本芳宣ガバナー、谷宗光ガバナーエレクトご臨席の許で「クラブ青少年交換関連委員長会議」が開催されました。この会議の目的は、クラブの委員長さんにご参加頂き、青少年交換プログラムの魅力を知って頂き、2024-2025年度の交換学生の募集を行って頂くことです。



2019年末から世界的に感染が拡大した新型コロナウイルス感染症によって、2020年春頃より青少年交換プログラムを中断することを余儀なくされ、11月のRI理事会において青少年交換プログラムの休止が決定されました。2022年の7月からは、条件付きで対面の青少年交換が再開されましたが、当地区においては隔離等の水際対策が継続していたことより休止を継続、2023年夏より交換を再開することになり、現在3名の派遣候補生が渡航準備を進めています。



2024-2025年度の派遣候補生の募集は、最大5名とし、締切日を2023年6月30日(金)とします。派遣を希望する学生は、スポンサークラブになって頂ける最寄りのロータリークラブを通じて地区青少年交換委員会に仮申請書を提出して頂きます。選考試験は、2023年7月23日(日)を予定しており、英語の筆記試験・口頭試験と面接があります。

今回のクラブ委員長会議には、過去に青少年交換を経験されたOB・OGの組織ROTEXメンバーの大瀬ゆゆさんと神前杏旗さんにも参加頂きまして、留学の体験談をお話頂きました。年度は違うのですが、「お二人共にアメリカのミネソタ州への派遣を経験されています。お二人のお話を聞いていると、共通していることは、部活等のスポーツを通じて人間関係を構築してコミュニケーション力を高めていくことが、より充実した交換学生としての生活を送る鍵になっているような気がしました。



ロータリーの交換学生は、「小さな親善大使」と呼ばれています。約1年間の海外生活を通じて、学生さん自身が大きく成長することは勿論のこと、現地の人たちとの交流を通じて国際親善・相互理解、そして世界平和に貢献するという大きなミッションを担っております。このような理念に基づき行われている青少年交換プログラムに参画してみませんか？

【地区活動報告】

ローターアクトの献血事業



地区ローターアクト

2023年2月26日、堺(イオンモール北花田)、泉佐野(いこらも～る泉佐野)、御坊(オークワロマンシティ御坊)において、献血事業を実施いたしました。

コロナ禍以降、輸血用血液は不足が続いており、例年アクトにて実施するこの献血事業は以前にもまして、社会的に非常に意義のあるものとなっています。

さらに、本年は、1月29日に実施しました地区連絡協議会の際にも、日本赤十字社様にご講演をいただき、献血を取り巻く昨今の状況や意義を再認識した上で事業に取り組むことができたのではないかと考えております。

コロナ禍においては実施することが難しかった本事業を無事終えることができましたことに感謝いたします。

アクターの皆様におかれましても、本当にお疲れ様でした。

○地区献血全体の受付人数:200人

○地区献血全体の採決人数:177人



【地区活動報告】

地区インターアクトクラブ 国内研修報告会



地区インターアクト委員長 渡辺 隆一

2023年2月19日(土)10:00～12:00の日程で、河内長野市駅前市民センター・ノバティホールにて、国内研修報告会を開催しました。

報告会では、昨年(2022年)の12月27日(水)～29日(金)に実施した宮城県気仙沼市および陸前高田市での研修中に撮影された動画を鑑賞した後、「震災の教訓を未来へ」というテーマでグループディスカッションが行われました。参加者は複数のグループに分かれ、それぞれが独自の視点からディスカッションを行いました。ディスカッションの結果は、グループごとにまとめられ、発表されました。

このディスカッションでは、東日本大震災がもたらした被害や教訓について議論されました。また、自然災害に備えるための取り組みや、地域や社会に貢献することの重要性についても話し合われました。グループごとに異なる意見が出され、有意義なディスカッションが行われました。

久しぶりの今回の国内研修の開催にあたり、改めまして、ご尽力いただきましたすべてのみなさまに深く感謝申し上げます。



写真提供 河内長野高野街道 安井 史郎

【地区活動報告】

地区チーム研修セミナー

今月は、「平和構築と紛争予防月間」です。去年の今頃、ロシアのウクライナ侵攻が始まりました。

2023-24年度ゴードン・R. マッキナリーRI会長は、『世界に希望を生み出そう』と年度のテーマを発表なさいました。

私達は世界を平和をもたらし、紛争の影響を受けた人々を癒し、破壊的な紛争から、世界を立ち直れるよう希望を生み出さなくてはなりません。

谷ガバナーエレクトは『思いやりあふれる！明るく！元気なロータリー！』スローガンを発表されました。

地区チーム研修セミナーの目的は、次年度のガバナー補佐と地区委員長が就任に向けて準備し、意欲を高められるようにすることです。

リーダーシップチームのメンバーが次年度の準備を整えます。クラブをサポートする事への地区リーダーのモチベーションを高めます。

地区チーム研修セミナーは、国際協議会後の2月に、実施することが推奨されています。2月26日(日)、岸和田波きりホールの素晴らしい会議場で、1人1テーブルとマイクで感染のリスクを避け、時間通り進行されました。

参加者は、ガバナーエレクトが任命した、次年度のガバナー補佐と地区委員長、副委員長です。



谷ガバナーエレクトが、3年ぶりに開催された国際協議会の報告をされました。

私は80枚ほどのパワーポイントを使い、基礎知識を振り返り、マイロータリー登録からのリソースの紹介や、DLP(地区リーダーシッププラン)から入り、このところ強く重要視されているDEI(多様性、公平さ、インクルージョン)について、研修させて戴きました。

次年度地区研修リーダー 藤井 秀香



2023-2024年度の研修

ガバナー補佐研修

地区チーム研修セミナー

会長エレクト研修セミナー(PETS)

地区研修・協議会

- 会員増強セミナー
- 公共イメージ向上セミナー
- ロータリー財団セミナー
- 規定審議会報告会
- 新入会員研修会

昨今、会議の形が変わってきています。講義式でなく、マイロータリーのリソースから勉強をして、RLI方式で、グループに分かれて話し合うのです。私の研修も参加者の皆様との言葉のキャッチボールを大事に進めたいと思います。

3年近くに及んだ、新型コロナウイルス感染拡大により、制限されていた奉仕活動も動き始めました。やがて訪れるコロナ終息後のロータリーで、違うバックグラウンドを持つ会員が、同じフロアに立ちDEIを推進します。

多様性、解放性のあるクラブの一員として、インパクトのある奉仕活動ができるよう、地区チームの皆様は、ご尽力くださいますようお願い申し上げます。